

九州歯科技工専門学校情報公開項目

令和3年12月1日現在

(1) 学校概要

学校名	九州歯科技工専門学校	
設置者名	学校法人 斉藤学園	
ホームページ	http://www.kyushigi.ac.jp/	
所在地	〒820-0044 福岡県飯塚市横田 7 7 0 - 1	
電話番号・FAX	TEL: 0948-24-6400、FAX: 0948-24-6486	
教育理念	基礎力の養成、創造力の育成、医療人の品格	
理事長	松本 聖武	
校長	藤原 弘明	
沿革	S. 39 (1964) S. 52 (1977) S. 53 (1978) S. 54 (1979) H. 6 (1994) R. 3 (2021)	医療法人済盟会 九州歯科技工士学院設立 私立専修学校の認可 九州歯科技工専門学校と改称 飯塚市横田の新校舎へ移転 学校法人斎藤学園 九州歯科技工専門学校に改組 歯科技工士専攻科 (1年制) 設置 職業実践専門課程認定

(2) 学科について

設置学科	(歯科技術専門課程) 歯科技工士科 修業年限2年
入学定員	35名
入学資格	学校教育法施行規則第80条に定められた高等学校卒業又はこれと同等以上の学力を有するもので、本学入学試験に合格したものである。
在校生数	17名
国家試験合格率 (令和2年度)	100% (新卒のみ) 100.0% (既卒生含む)
卒業生数	2304名 (令和元年度実績、延べ数)
就職率	100% (令和2年度)
主な就職先	株式会社ギコウ、株式会社シケン、和田精密歯研株式会社、長崎大学病院 中央技工室、株式会社 AGT、株式会社デンタルアート

成績評価	担当教官による学期末に行う試験またはレポート等による評価
進級・卒業要件	<ul style="list-style-type: none"> ・学期末試験で 60 点以上、各講義・実習時間数の 3 分の 2 以上の出席があり、所定の学費を完納したもの ・進級と単位の認定は試験結果、出欠席の状況等を審査し、教授会の議を経て、校長が行う。 ・76 単位以上の修得で卒業認定
カリキュラム	<p>1 年次</p> <p>造形美術概論、コミュニケーション学Ⅰ、歯科技工学概論、口腔・顎顔面解剖学Ⅰ/Ⅱ、歯の解剖学実習Ⅰ、顎口腔機能学実習、歯科理工学Ⅰ/Ⅱ、歯科理工学実習、有床義歯技工学Ⅰ/Ⅱ、有床義歯技工学実習Ⅰ/Ⅱ、歯冠修復技工学Ⅰ/Ⅱ、</p> <p>歯冠修復技工学実習Ⅰ/Ⅱ、矯正歯科技工学、矯正歯科技工学実習、小児歯科技工学、小児歯科技工学実習、歯科技工実習Ⅰ/Ⅱ</p> <p>2 年次</p> <p>コミュニケーション学Ⅱ、関係法規、口腔・顎顔面解剖学総合、歯の解剖学実習Ⅱ、顎口腔機能学Ⅰ/Ⅱ、歯科理工学総合、有床義歯技工学総合、</p> <p>有床義歯技工学実習Ⅲ/Ⅳ、歯冠修復技工学総合、歯冠修復技工学実習Ⅲ/Ⅳ、矯正歯科技工学総合、小児歯科技工学総合、歯科技工実習Ⅲ/Ⅳ</p>

(3) 教員について

専任教員数	3 名
兼任教員数	8 名

(4) キャリア教育・実践的職業教育

企業との連携授業	<p>1 年次：3 社（歯科技工学概論）</p> <p>2 年次：3 社（矯正歯科技工学総合、歯科技工実習Ⅲ/Ⅳ）</p>
就職支援	本校卒業生は優先的にギコウグループへの就職が可能

(5) 様々な活動・教育環境

学校行事	入学式、遠足、ボーリング大会、修学旅行、九歯技祭（文化祭）、卒業式、卒業記念会食
課外活動	部活動（ゴルフ部）、学生会（文化祭実行委員、その他学校行事の運営）、地域美化運動（周辺清掃）、体験入学のアシスタント、職業認知度向上のための街頭啓発活動

(6) 学生の生活支援

学生向けマンションの紹介	近隣の学生向けマンションに詳しい不動産業者を紹介
--------------	--------------------------

(7) 学生納付金・修学支援

学生納付金	1年次：合計 1,690,000 円 2年次：合計 1,226,000 円
奨学金	株式会社ギコウによる奨学金制度 日本学生支援機構による奨学金制度

(8) 学校の財務

財務諸表	令和2年度 収入総額：65,160,000 円 支出総額：65,155,000 円
------	--

(9) 学校評価

自己点検評価	自己点検評価参照
学校関係者評価	学校関係者評価参照

(10) 国際連携の状況

なし

(11) その他

なし
